

引用資料

- 1) 日本皮膚科学会編：男性型および女性型脱毛症診療ガイドライン2017年版. 日皮会誌：2763-2777 (2017)
- 2) Wolff K, et al.: McGraw-Hill Medical, Fitzpatrick's Colour Atlas and Synopsis of Clinical Dermatology, 7th Edition. : 761-763 (2013)
- 3) 坪井良治ほか：日皮会誌, 120: 977-986 (2010)
- 4) Bienová M, et al.: Acta Dermatovenerol Alp Pannonica Adriat, 14: 5-8 (2005)
- 5) Tosti A, et al.: J Eur Acad Dermatol Venereol, 12 : 205-214 (1999)
- 6) Miteva M, et al.: Expert Opin Pharmacother, 13: 1271-1281 (2012)
- 7) Gubelin Harcha W, et al.: J Am Acad Dermatol, 70: 489-498 (2014)
- 8) Andriole GL, et al.: N Engl J Med, 362: 1192-1202 (2010)
- 9) 日本泌尿器科学会：前立腺癌診療ガイドライン2016年版. 金原出版: 47-50 (2016)

デュタステリド カプセル 0.5mg ZA「BMD」

正しい理解と服用を
続けていただくために

デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の服用により期待できる効果や起こりうる副作用について紹介しています。なお、デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」を正しく服用していただくためのガイドであり、医師又は薬剤師の先生からのアドバイスなどに代わるものではありません。服用方法や服用時の注意、副作用など、デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」に関する詳しい情報は、Webサイト (<http://www.ski-pharma.jp>) に掲載されている「くすりのしおり」をご覧ください。また、デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」を処方された際には、「くすりのしおり」や本ガイドを必ずお読みください。

お問い合わせ先

SKIファーマ株式会社 おくすり相談窓口

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-16-7 山葉ビル5F

TEL: (03) 6300-4076

男性型脱毛症とは？

- male pattern hair loss, androgenetic alopecia(以下AGAと略す)とも言われ、男性の薄毛の主な原因と考えられています^{1),3)}。日本人男性の約30%にみられます^{1),2)}。
- AGAは遺伝に起因して発症するとされ、またAGAは徐々に進行します^{1),2),4)}。発症すると、髪の毛が細くなる、髪の毛が抜けるといった変化がみられます^{1),4),5)}。
- 抜け毛は一般的に前頭部の生え際から始まって頭頂部に続き、進行すると側頭部や後頭部の髪を残してほとんどが抜けてしまいます^{1),2),4),5)}。

デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の働きは？

- AGAは、髪の毛の成長を遅らせ、髪の毛が細くなったり、抜けてしまったりする原因であるジヒドロテストステロン(DHT:男性ホルモンの一種)などの影響により発症します^{1),2),4),5)}。
- デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」は、1型および2型の5 α 還元酵素の働きを抑え^{1),6)}、DHTの量を減らすことにより、髪の毛が増える、髪の毛が太くなるなどの効果を示します^{1),7)}。

医師は、問診などによってAGAの診断を行い、あなたに合った治療法を選択します。

デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の服用方法は？

通常、成人男性では、1日1回、1カプセルを服用します。

デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の服用で気をつけていただきたいこと

- デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」は、男性における男性型脱毛症以外の脱毛症の治療を目的として服用することはできません。
- デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の服用により3ヶ月で効果があらわれる人もいますが、通常6ヶ月間、お薬を飲み続ける必要があります。ご自身の判断でデュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の服用を中止せず、医師の指示どおり服用を継続しましょう。
- 女性はデュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」を服用しないでください。また、デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」は皮膚から吸収されるため、女性はカプセルから漏れた薬剤に触れないでください。妊娠している女性がデュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」にさらされると男子胎児の生殖器官などの発達に影響を及ぼす可能性があります。
- デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」は、前立腺癌の検査で測定される血清前立腺特異抗原(PSA)値を低下させるので、PSA検査を行う際は、デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」を服用中であることを必ず担当の先生にお伝えください。
- 20歳未満の方の安全性は確認されておりませんので、服用にご注意ください。
- 小児や乳幼児の手の届かないところに保管してください。小児や乳幼児はカプセルから漏れた薬剤に触れないでください。漏れた薬剤に触れた場合には、直ちに石鹸と水で洗ってください。

デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」で見られる可能性のある副作用

どのようなお薬でも、副作用があらわれる可能性があります。新しい薬を服用する際には、その効果とともに、現れる可能性のある副作用についても理解することが重要です。

デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」による治療を始める前に副作用や服用時の注意などが記載されている「くすりのしおり」や本ガイドを読み、気になる点については医師又は薬剤師の先生に相談しましょう。デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」では、以下のような副作用があらわれることがあります。

- 特にご注意いただきたい重大な副作用として、肝機能障害や黄疸があらわれることがあります。からだがだるい、吐き気、食欲不振、白目や皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなるなどの症状があらわれたら、ただちに医師又は薬剤師の先生にご相談ください。
- まれに副作用として、勃起不全、性欲減退、射精障害があらわれることがあります。これらの副作用はデュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の服用中止後も持続する場合があります。
- 極まれに副作用として、乳房障害(乳房のはれや痛み)があらわれることがあります。いつもと違う症状があらわれたら、医師又は薬剤師の先生にご相談ください。
- 男性の生殖能力への影響は知られていませんが、精子の数や精液量を減らしたり、精子の運動を弱めてしまう可能性があります。
- デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」との関連性は明らかではありませんが、4,000例以上の前立腺肥大症患者を対象とした海外臨床試験において、3例の乳癌が報告されました。このうち2例はデュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の有効成分であるデュタステリドが投与された症例、1例は偽薬^{※1}のみが投与された症例でした。
※1 有効成分を含まない(治療効果のない)薬
- 前立腺癌を発症する可能性の高い男性を対象とした臨床試験^{※2}において、デュタステリドカプセル0.5mgZA「BMD」の有効成分であるデュタステリドを服用した男性は、デュタステリドを服用しなかった男性と比べて、悪性度の高い前立腺癌の発現頻度が高かったという報告があります^{※3}。
※2 白人を主体とした50~75歳で、前立腺癌の指標であるPSA値の上昇が認められたもの前立腺癌が否定された男性を対象に実施された臨床試験
50歳を超えた段階で、健康診断などでPSA検査を定期的に受けることが推奨されています^{※3}。